

地球科学輻合ゼミナール

(2012年度 前期 第3回)のご案内

月のテクトニクス

山路 敦

京都大学 大学院 理学研究科 地質学鉱物学分野

隕月にも断層や褶曲があって、構造地質学の研究対象になっている。そうした構造は、もっぱら20~40億年前につくられたものである。「かぐや」の探査の結果、そうした構造をつくった月のテクトニクスは、それまで考えられていたより10億年くらい若いことが示されつつある。このことは、月の成因として人気がある、Giant Impact 説に対して否定または修正を迫るものである。

4月25日(水) 午後4:30~午後6:00

場所: 理学研究科6号館 303号室